

## 近鉄南大阪線

かわち まつばら

# 河内松原駅(松原市)～上ノ太子駅(羽曳野市)

かみのたいし

歩行距離 16.2km  
標準歩行時間 3時間23分  
標準所要時間 7時間  
(標準所要時間には観光、休憩を含めた時間)

松原市南部を抜けて羽曳野市へ。この付近には大小の古墳や古社寺が並んでいます。街道沿いにある、それら古代文化の名残を訪ね歩くのも楽しいエリア。臥龍橋を越えると飛鳥川の旧河川敷を利用した遊歩道「であいのみち」もあり、古墳時代・飛鳥時代を表現したモニュメントなどで、羽曳野の歴史や文化と出会えます。



### 野中寺

聖徳太子と蘇我馬子の建立と伝えられ、釈福寺(えいふくじ)の「上の太子」、大聖勝軍寺(だいでいしょうぐんじ)の「下の太子」に対して「中の太子」と呼ばれており、竹内街道に南大門を置く大寺院でした。境内に残っている塔跡や金堂跡など飛鳥時代の伽藍の一部は、国指定の史跡。白鳳期の弥勒菩薩像、鎌倉期の地藏菩薩立像などの重要文化財のほか、ヒチンジョ池西古墳出土の石棺なども残されています。また、府の天然記念物に指定されているサザンカや、浄瑠璃でおなじみのお染・久松の墓などがあります。



### 日本武尊白鳥陵

記紀に記される英雄、日本武尊の陵とされる前方後円墳。東征の帰りに、伊勢で病のために亡くなった尊は、白鳥に姿を変えて飛び立ちました。大和を経てこの地に舞い降り、その後、西方に向けて羽を曳くように飛び去ったという伝説から「羽曳野」という市名が生まれたといわれています。



### 河内木綿

江戸時代から綿作が盛んだった河内地方では、自家製の綿による糸織りや木綿織りが農家の副業として行われており、河内木綿として知られていました。宝永元年(1704)の大和川付け替え以降、旧川床にできた新田で本格的な綿栽培が始まると、河内木綿の生産量は飛躍的に増加しました。



### スタート地点までの電鉄情報

大阪	大阪阿部野橋駅	近鉄南大阪線・準急 約10分	河内松原駅	
奈良	橿原神宮前駅	近鉄南大阪線・急行 約20分	古市駅 準急 約11分	河内松原駅

### 帰りの電鉄情報

大阪	上ノ太子駅	近鉄南大阪線・準急 約31分	大阪阿部野橋駅	
奈良	上ノ太子駅	近鉄南大阪線・準急 約12分	尺土駅 急行 約8分	橿原神宮前駅

